

2017年度全国代表者会議を開催

会員1万人目標達成に現役の奮起を求める

JAMシニアクラブは、9月6日午後、東京田町・友愛会館大会議室で地方代表、来賓、役員66人が出席して全国代表者会議を開催した。会議ではシニアクラブ結成以来の悲願である会員目標1万人をめぐり現役にこれまで以上の奮起を求める意見が集中した。活発な討議ののちシニア活動検討委員会によるシニア活動の見直し検討を含む2017年度活動方針は満場の拍手で確認された。代表者会議終了後シニアクラブ結成15周年記念パーティーを同会場で開催した。

定刻の13時30分には全員が着席。田子副会長の開会挨拶で始まりシニアクラブを代表して大山会長が挨拶、規約に沿って議長として議事進行した。



大山会長は参議院選挙を振り返り「残念な結果になったがシニアは現役が取りまとめる総括や決定に基づいて今後も取り組んでいく」ことを表明。改憲勢力を確保した安倍政権には「安全保障関連法案の強行採決や改憲を支持したわけではない」とし、アベノミクスによる雇用の劣化が社会保障の財源議論につながることを指摘「雇用の劣化を阻止する活動に積極的に参加していく」姿勢を示した。その上で向う1年間「税金と社会保障の学習会を進める」と語り、会員1万人達成には活動検討委員会を設置し現状をどう打開するか検討していくと挨拶した。

組織内候補として参議院比例区から立候補した藤川慎一JAM副会長はシニアからの叱咤激励と協力への御礼を述べ、全国の職場に足を運び感じた課題とJAM産業政策を再構築することへの意欲を示した。その後退職者連合石原喜久副会長が挨拶し議事に入った。

活動方針の軸となる会員1万人の目標と地域活動の強化については、登録人数に応じた目標値を継続、現役役員の協力が不可欠とし連携強化懇談会など現役との定期協議の場で具体的に進めていく。会員に一番近いJAMの地区協毎に地域組織の結成をめざし会員の交流を深める機会を増やすとしている。

討議では 10 人から発言があった。主なものは①昔の仲間が残っていないので現役がしっかり組織化しないと拡大は難しい。現役が本腰をいれてやらない、本部段階でやり切っていないのではないか②退職した者で世の中を動かしていくことが必要として組織化した。現役がシニアの必要性を本当に感じているのか疑問だ③なかなか現役に動いてもらえない。現役と話し合って地域の組織を大きくする雰囲気づくりが必要だ④地域の組織化や他地方 JAM から郷里に帰ってきたときの組織化した事例はあるのか⑤広域地方から総会や代表者会議への出席枠拡大の要望など組織化・会員拡大に対する現役にこれまで以上の奮起を求める発言が続いた。また 15 年を振り返って組織理念をふまえて活動を見直すシニア活動検討委員会とメンバーが確認された。

経過報告は本部報告を一部補強し承認され、会計決算・監査報告、予算も満場の拍手で承認された。最後に木村副会長の閉会挨拶で終了した。

JAMシニアクラブ結成15周年記念パーティー

この瞬間を大切に20周年への飛躍を誓う

悲願の会員登録1万人へ決意も新たに挑戦

結成 15 周年記念パーティーは全国代表者会議終了後の午後 5 時より、同会場を模様替えし代表者会議出席者に加え、シニア本部三役経験者と現役 JAM 三役、津田弥太郎前参議院議員、退職連合本部役員など 77 名の出席で開催された。準備会からの関係者や現役、新役員など幅広い年代層の皆さんが一堂に会し、久しぶりの再会を懐かしみ結成時の苦労話や近況、政権談義を元気に会話する光景が見られた。



挨拶する JAM 宮本礼一会長

15 周年記念パーティーは大野弘二事務局長の司会で進められ、木村副会長が開会挨拶、シニアを代表して大山会長は 15 周年を迎えたことをともに祝い「壁にぶつかっている会員拡大には現役の協力のもと集まりやすい地域のシニアクラブづくりを進め 1 万人達成を目

指す」と挨拶した。

来賓のJAM宮本礼一會長は「参議院選挙は残念な結果になったがJAMの体制を立て直すのが私の役目」と語り、ものづくり基盤の強化や若者の職場の確保、社会保障の充実と労働ルール作りにしっかりと取り組んでいくと力説した。その後、退職者連合の石原喜久副会長と津田弥太郎前参議院議員から祝辞を受け15周年を祝った。

橋村顧問の乾杯の音頭で祝宴がスタート。アルコールが進むにつれ会場の彼方此方で久し振りの再会を喜ぶ声やお互いの姿形の変化と体調などを話題に語るグループや懐かしい結成当時の苦労話に政治談議にと現役も加わりながら会話に花が咲いた1時間半であった。最後に田子副会長の締めで散会した。



挨拶する退職者連合・石原喜久副会長

「15年は厳しい活動の連続であったと思います。働き方ではなく働き方の検討を進めるなどでもない政権から私たちの代表による政治へ主導権を取り戻さなければならない」



挨拶する津田弥太郎・前参議院議員

「シニアの皆さんには 12 年間大きな力を頂き大変お世話になりました。シニアの活動は楽しい思い出ができることが大切。長野の会員として会員拡大に協力していきたい」



橋村良夫顧問による乾杯

「準備会から参加した立場として 15 周年を迎えたことは感無量です。設置されたシニア活動検討委員会でしっかりと検討がされることを期待します」

パーティースナップ



